

インターネット上のサービスにおける 利用者の匿名性と特定・追跡性の両立 —NAFJPによる実現方式の考察—

2021年1月20日

(株)IT企画 才所敏明

toshiaki.saisho@advanced-it.co.jp

<http://www.advanced-it.co.jp>

<https://www.facebook.com/toshiaki.saisho>



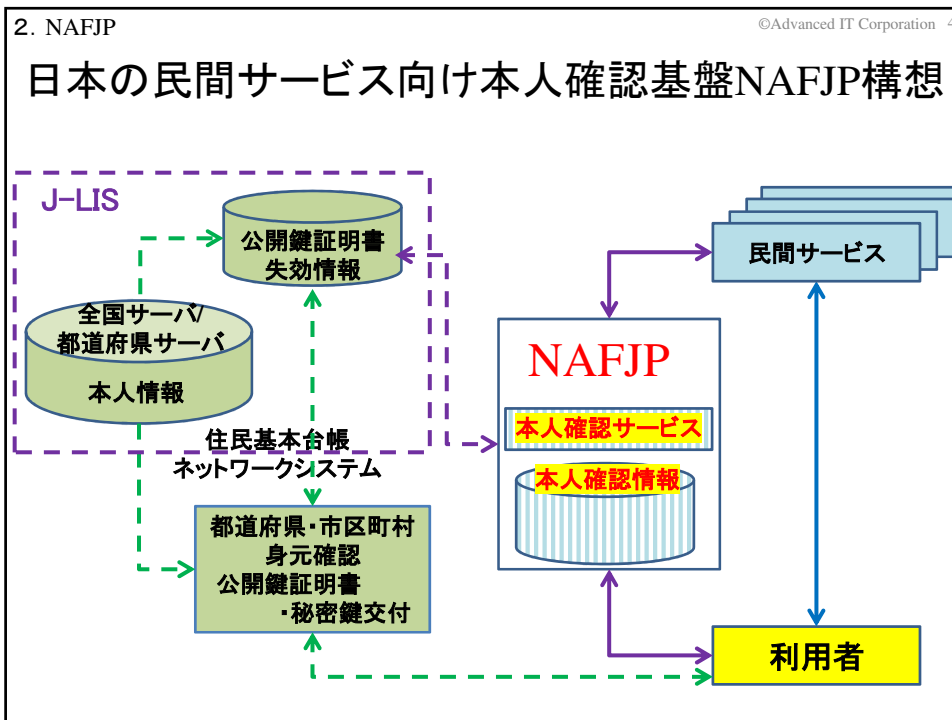
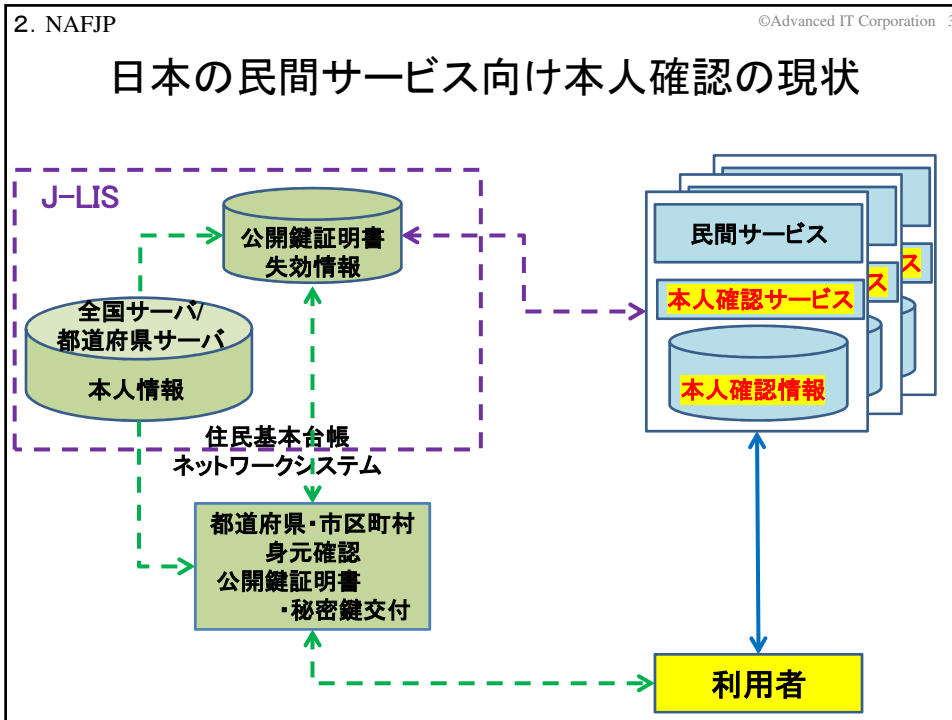
諸悪の根源は インターネットの匿名性！？

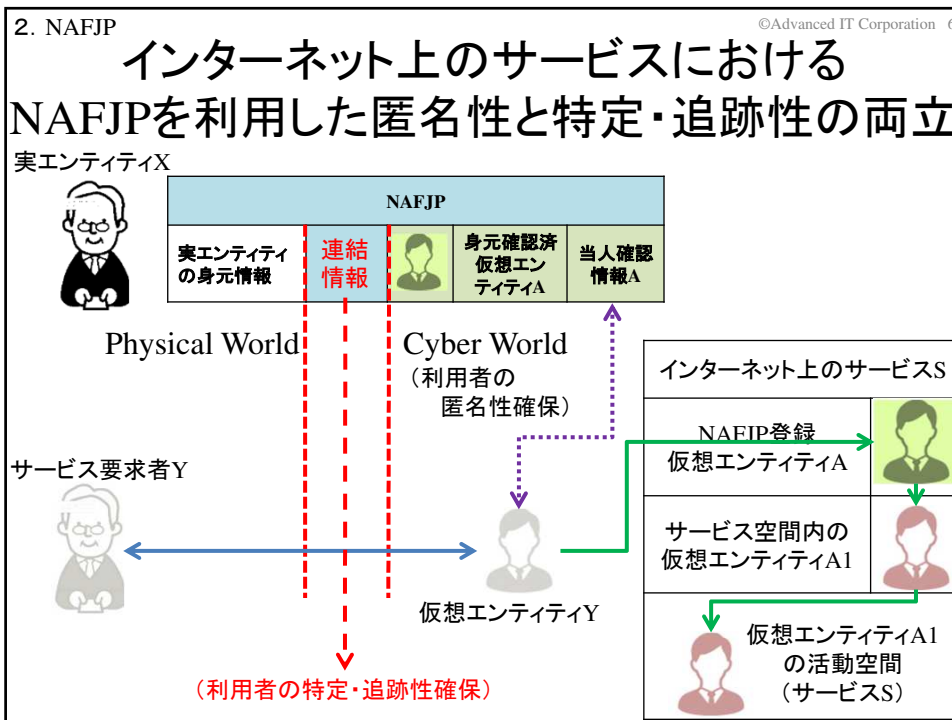
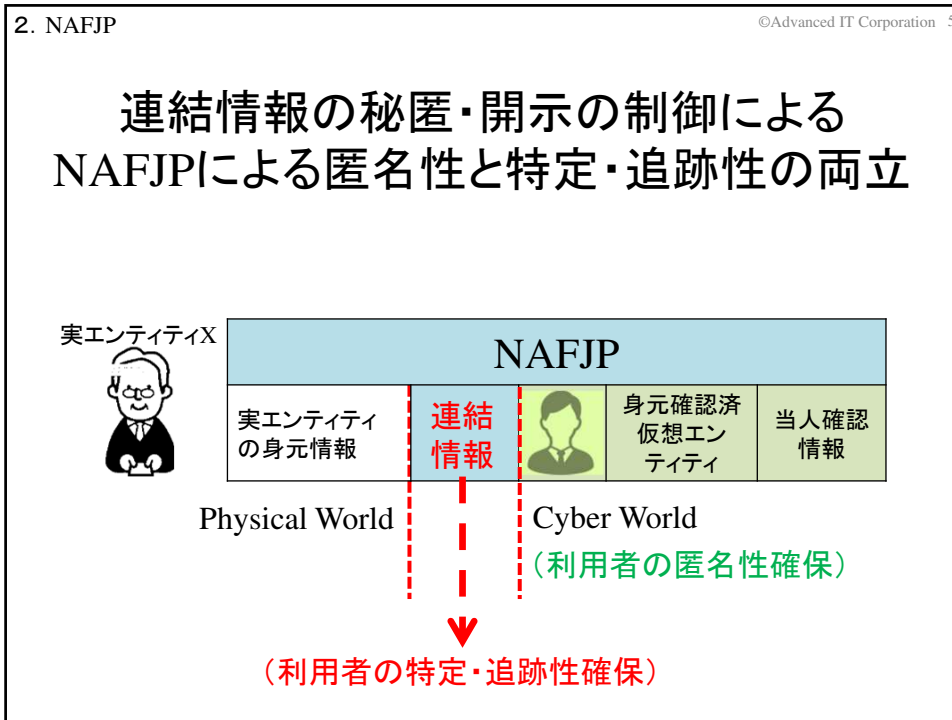
氾濫するインターネット経由の犯罪(悪意)を
より確実に排除できるためには
利用者の特定・追跡性の実現は避けて通れない！

しかし、インターネット社会の発展には、利用者の匿名性も重要！
個人情報・プライバシー情報を含めた活発な意見交換、
様々なサービスの発展が、インターネット社会を更に発展へ！



インターネット利用における
利用者の匿名性と特定・追跡性の両立が、
安心・安全なインターネット社会の実現に不可欠！





3. SSMAX ©Advanced IT Corporation 7


安心・安全な電子メール利用基盤SSMAX (Secure and Safe Mail Exchange Framework)

(1) 確実な本人確認共に、匿名性の確保が可能
 * マイナンバー制度(J-LIS)の利用により、確実な身元確認が可能

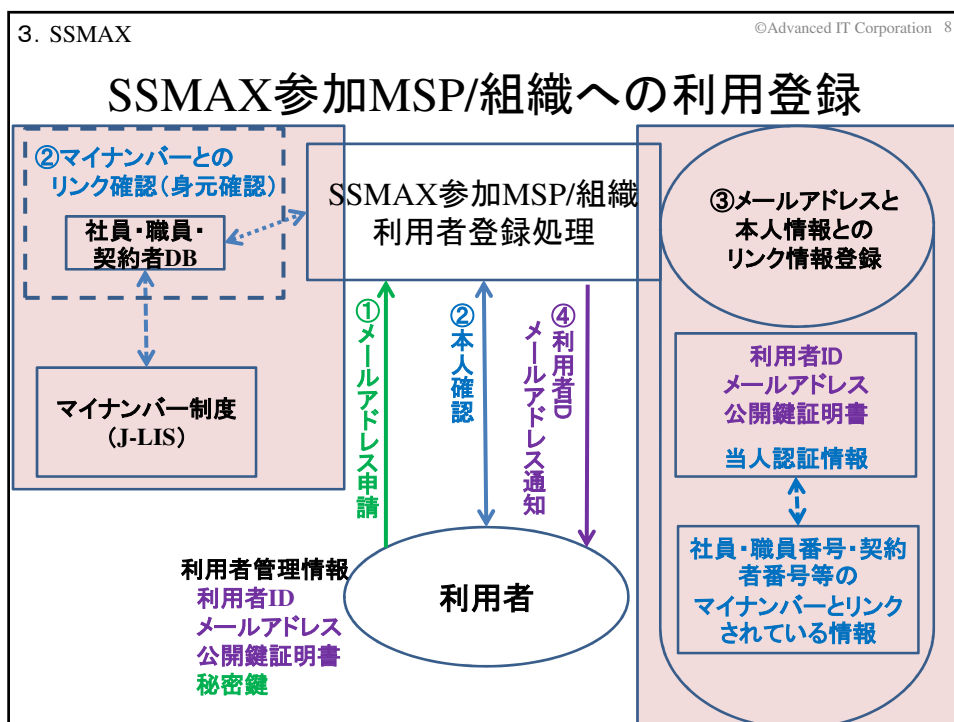
(2) メール送信者の認証のみならず、特定・追跡が可能
 * 悪意のあるメール発信源を速やかに停止させることが可能

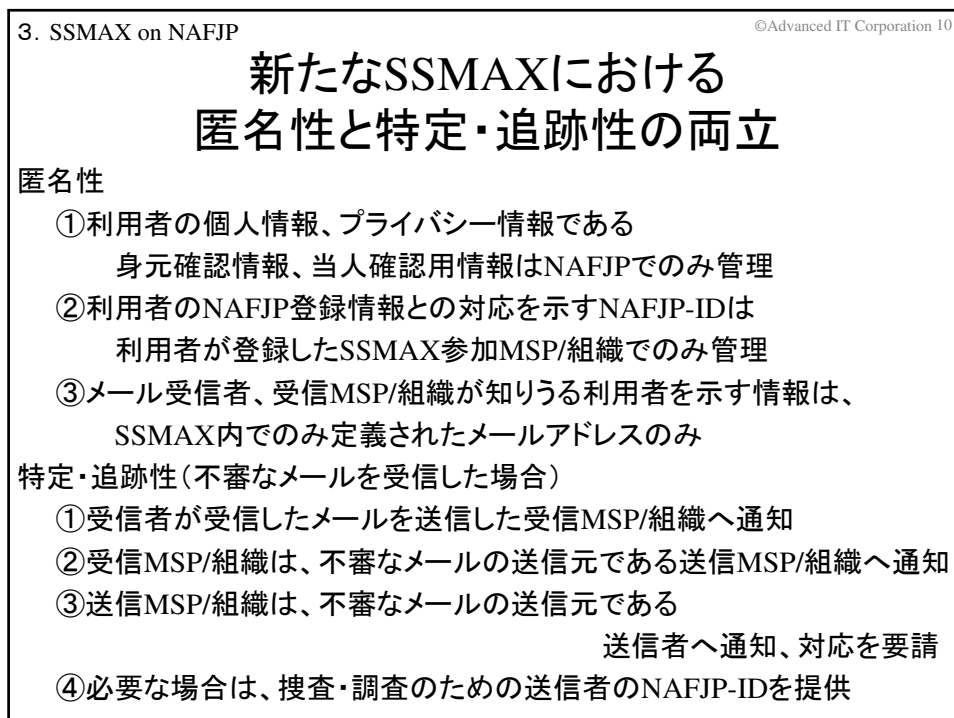
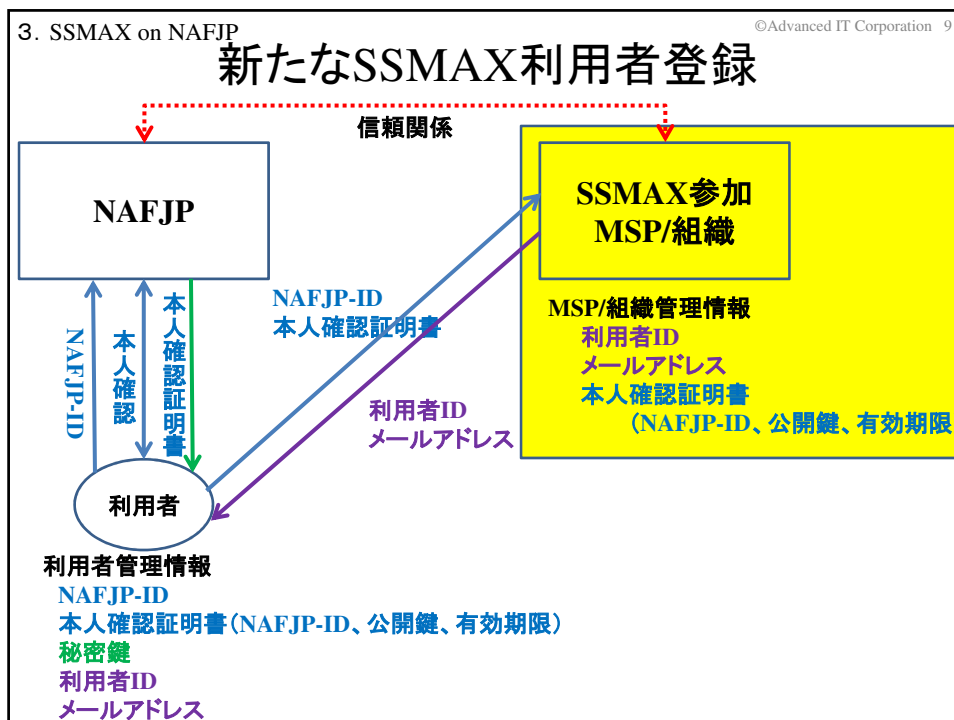
標的型攻撃メールの流通を抑止可能で、リスクを大幅に低減可能
 個人・組織を対象とした、
 中傷・脅迫・いじめなど、悪意のあるメールの氾濫も抑止可能

(3) メール情報の秘匿も可能で、個人情報・秘密情報に拘らず、
 安心して緊密なコミュニケーションが可能



安心・安全電子メール利用基盤SSMAXにより、
 我が国の産業活動、国民の生活活動を支える
 安定した基礎的・共通のコミュニケーション基盤の確立へ





4. まとめ

©Advanced IT Corporation 11

インターネット社会における 本人確認基盤NAFJPの利用効果

- (1)アプリケーションサービス提供者にとって
本人確認機能の実装が不要
個人情報、プライバシー情報の管理不要
- (2)利用者にとって
本人確認のためのユーザインタフェース統一/管理情報削減
による利便性向上
個人情報、プライバシー情報提供への不安軽減
- (3)インターネット社会にとって
専門組織による本人確認により、確実な本人確認が可能
→インターネット経由の犯罪や悪意の氾濫を
より確実に抑止・排除可能
と同時に、匿名性も確保でき、
インターネットの社会での活用促進に期待

4. まとめ

©Advanced IT Corporation 12

本人確認基盤NAFJPによる 匿名性と特定・追跡性の両立方式

- (1)本人確認基盤NAFJPによる
匿名性と特定・追跡性の両立の確実な実現
- (2)SSMAXへのNAFJPの具体的適用方式を示し、
インターネット上の様々なアプリケーションへの
NAFJP適用が可能であること

→本人確認基盤NAFJPは、
安心・安全なインターネット社会の最重要インフラ！

終

(ご清聴、ありがとうございました)